

屋外空間(駐車場・アプローチ)

利用者が
不便に思う
ポイント

多くの方の
意見

●車いす使用時や、ベビーカーやカートを押して移動するときには、段差があると、スムーズに移動ができない。

●移動中に杖先や車いすのキャスターが溝に引っかかると転倒しやすくなり、けがにつながる。

●ベビーカーやカートを押して移動するときは、横方向に傾斜があるとまっすぐ進めない。また、進行方向に傾斜があると勢いがついてしまう。



●車の乗降時には車のドアを全開にする必要があるため、乗降用のスペースが狭いと、車の乗り降りが大変。

敷地内の通路は、
段差を設けない
ようにする。

床に段差が
ないから
カートで移動
しやすい!

駐車場は、建築物のそばに配置
し、歩行者用の通路を設けるな
どの安全面の配慮をする。

車路と通路の色分けや仕上げを変
えるなど、直感的に歩行場所がわ
かるように配慮する。

自動ドアは、
荷物やベビーカーで
手がふさがっていても、
移動がラクチン!

左右どちらからでも
乗り降りできた
ほうが便利!

誘導ブロックは、周りの
柱や壁の位置、車道、段
差に配慮して配置する。

車いす使用者用駐車スペース(幅
3.5m以上)の近い位置に、歩行困難
な方等(車いす使用者以外の障がい
のある方、妊産婦、けが人など)のた
めの駐車スペース(幅3.5m未満で
可)を、別に設置することが望ましい。

駐車場と乗降スペースは平坦に
する。(少しの傾斜でもベビーカー
や車いすは移動してしまう)

排水溝等の蓋



排水溝等の蓋は杖先やキャスターが
落ちない目の細かいものにする。